

オリンパスグループ 2013年3月期 第2四半期 決算概要

オリンパス株式会社
代表取締役社長執行役員

笹 宏行

2012年11月12日

- I. 2013年3月期 上半期のハイライト**
- II. 第2四半期連結決算概況および通期見通し**

① 好調な医療事業がドライバーとなり営業増益を確保

② 中期ビジョンの確実な進捗

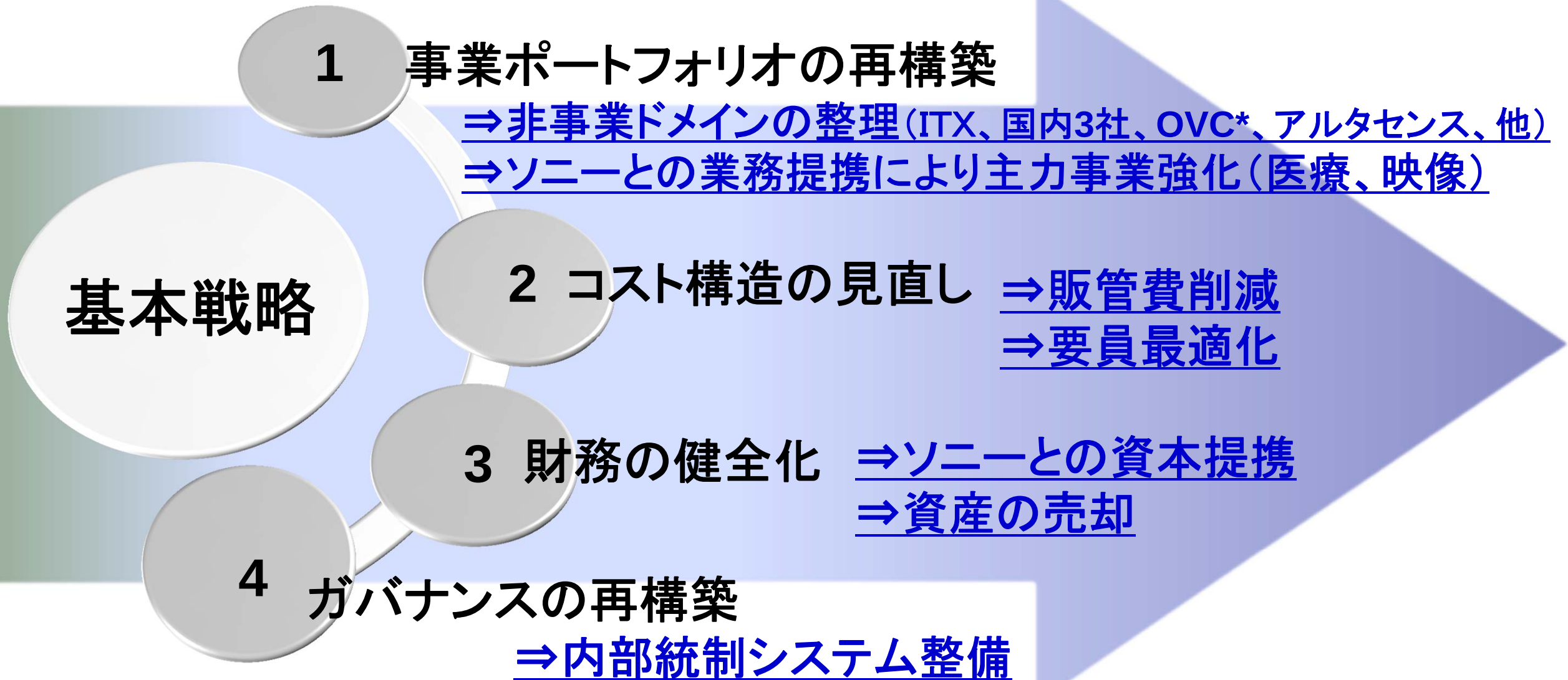
③ 映像事業のさらなる改革

2013年3月期 第2四半期実績 連結業績サマリー

◆ 好調な医療事業がドライバーとなり営業増益を確保

(単位: 億円)	2012年3月期 2Q累計(4-9月)	2013年3月期 2Q累計(4-9月)	増減額	前年 同期比	為替影響 調整後
売上高	4,145	4,058	△88	△2%	+0%
営業利益 (営業利益率)	175 (4.2%)	180 (4.4%)	+5 (+0.2pt)	+3%	+30%
経常利益	95	74	△21	△22%	
四半期純利益	△323	80	+403	-	

中期ビジョンの確実な進捗



* OVC: オリンパスビジュアルコミュニケーションズ社

現状分析

【コンパクトカメラ】

- ◆ スマートフォンへのシフト加速
- ◆ 欧州のマクロ環境悪化



コンパクトカメラ市場の急激な縮小

【ミラーレス一眼】

- ◆ 業界トップメーカーの参入
- ◆ OM-Dが全世界で想定以上の販売
- ◆ PEN新製品2機種投入



ミラーレス市場の拡大加速

SLRの売上は計画を達成(上半期)

下半期にさらなる拡大

来期以降、黒字を確保できる体質への変革

1. 収益構造の抜本的改善（中期ビジョン加速と見直し）

- ◆ 商品構成と製造体制見直し →
 - ・高付加価値モデルへのシフト加速
 - ・製造体制の集約と合理化
- ◆ 販売管理費の削減 →
 - ・販売方法の効率化と間接機能のさらなる合理化

2. ソニーとの業務提携効果を早期に実現

- ➡ 部品相互供給によるコスト構造改革と技術補完による製品力の強化

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

2013年3月期 第2四半期 連結決算概況

オリンパス株式会社
取締役専務執行役員 グループ経営統括室長

竹内 康雄

2012年11月12日

(1) 2013年3月期第2四半期連結業績 およびセグメント別概況

2013年3月期 第2四半期実績 ①連結業績概況

(単位:億円)	2012年3月期 上半期(4-9月)	2013年3月期 上半期(4-9月)	増減額	前年 同期比	為替影響 調整後	2012年3月期 2Q(7-9月)	2013年3月期 2Q(7-9月)	前年 同期比	為替影響 調整後
売上高	4,145	4,058	△88	△2%	+0%	2,159	2,162	+0%	+2%
販管費 (販管費率)	1,720 (41.5%)	1,694 (41.8%)	△26 (+0.3pt)	△2%	-	874 (40.5%)	849 (39.2%)	△3% (△1.3pt)	-
営業利益 (営業利益率)	175 (4.2%)	180 (4.4%)	+5 (+0.2pt)	+3%	+30%	123 (5.7%)	159 (7.4%)	+30% (+1.7pt)	+47%
経常利益 (経常利益率)	95 (2.3%)	74 (1.8%)	△21 (△0.5pt)	△22%	-	86 (4.0%)	76 (3.5%)	△12% (△0.5pt)	-
四半期純利益 (純利益率)	△323 (-)	80 (2.0%)	+403 (-)	-	-	△309 (-)	125 (5.8%)	-	-
<為替レート・影響額>									
円/US\$	80円	79円	△0.4円(円高)						
円/Euro	114円	101円	△13円(円高)						
売上高への影響額	-	△96億円							
営業利益への影響額	-	△47億円							

上半期のポイント

- ✓ 医療事業が好調に推移し、営業増益を確保(7-9月期では増収・大幅増益)
- ✓ 特別利益: 情報通信事業の売却益156億円
- ✓ 特別損失: 投資有価証券評価損24億円、早期割増退職金13億円

2013年3月期 第2四半期実績 ②セグメント別業績

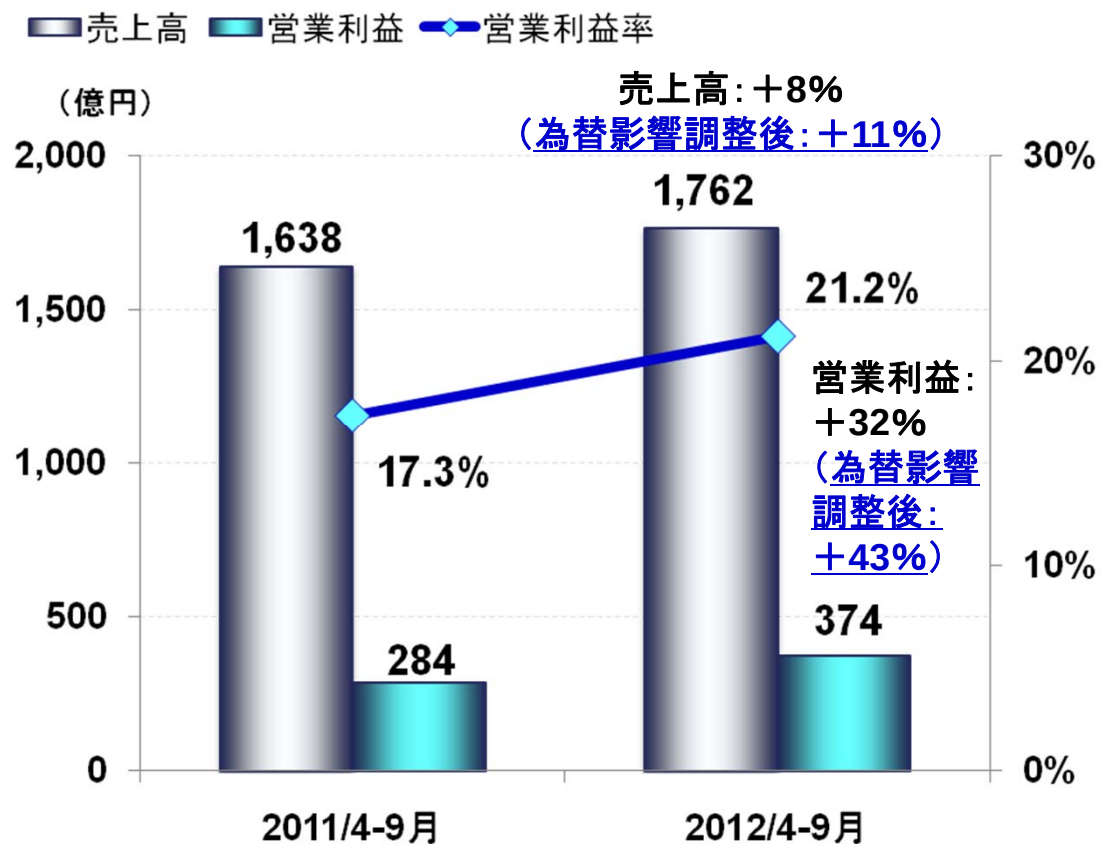
◆ 医療事業が前年同期比で大幅増収増益

(単位:億円)		2012年3月期 2Q累計(4-9月)	2013年3月期 2Q累計(4-9月)	増減額	前年 同期比	為替影響 調整後
医療	売上	1,638	1,762	+124	+8%	+11%
	営業利益	284	374	+90	+32%	+43%
ライフ・産業	売上	449	381	△67	△15%	△12%
	営業利益	35	11	△24	△69%	△69%
映像	売上	711	559	△152	△21%	△18%
	営業利益	△2	△44	△42	-	-
情報通信	売上	1,092	1,142	+50	+5%	+5%
	営業利益	28	17	△10	△38%	△38%
その他	売上	256	213	△43	△17%	△17%
	営業利益	△34	△36	△2	-	-
全社・消去	売上	-	-	-	-	-
	営業利益	△135	△141	△6	-	-
連結合計	売上	4,145	4,058	△88	△2%	+0%
	営業利益	175	180	+5	+3%	+30%

2013年3月期 第2四半期実績 ③医療事業

- ◆ 主力の消化器内視鏡に加えて、外科内視鏡の販売が急伸長
- ◆ 収益性の高い内視鏡分野の増収が寄与し、営業利益率が大きく改善

上半期（4-9月期）

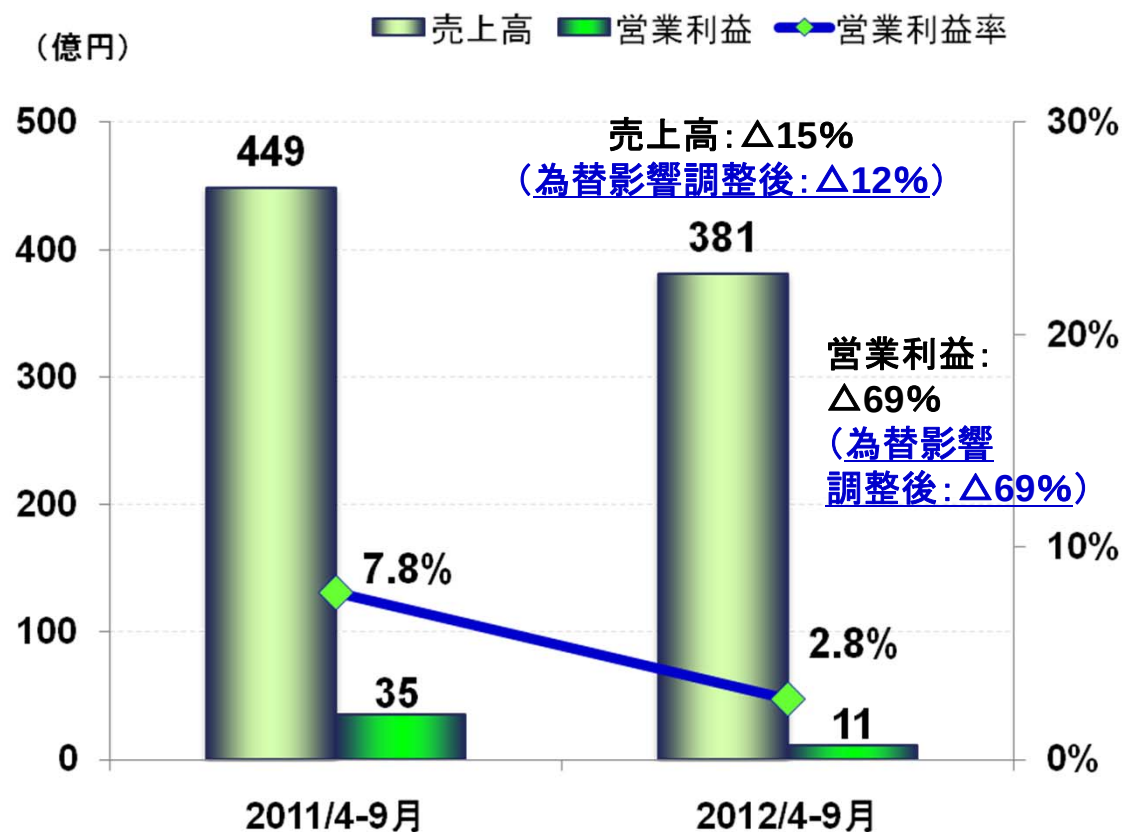


2Q（7-9月期）

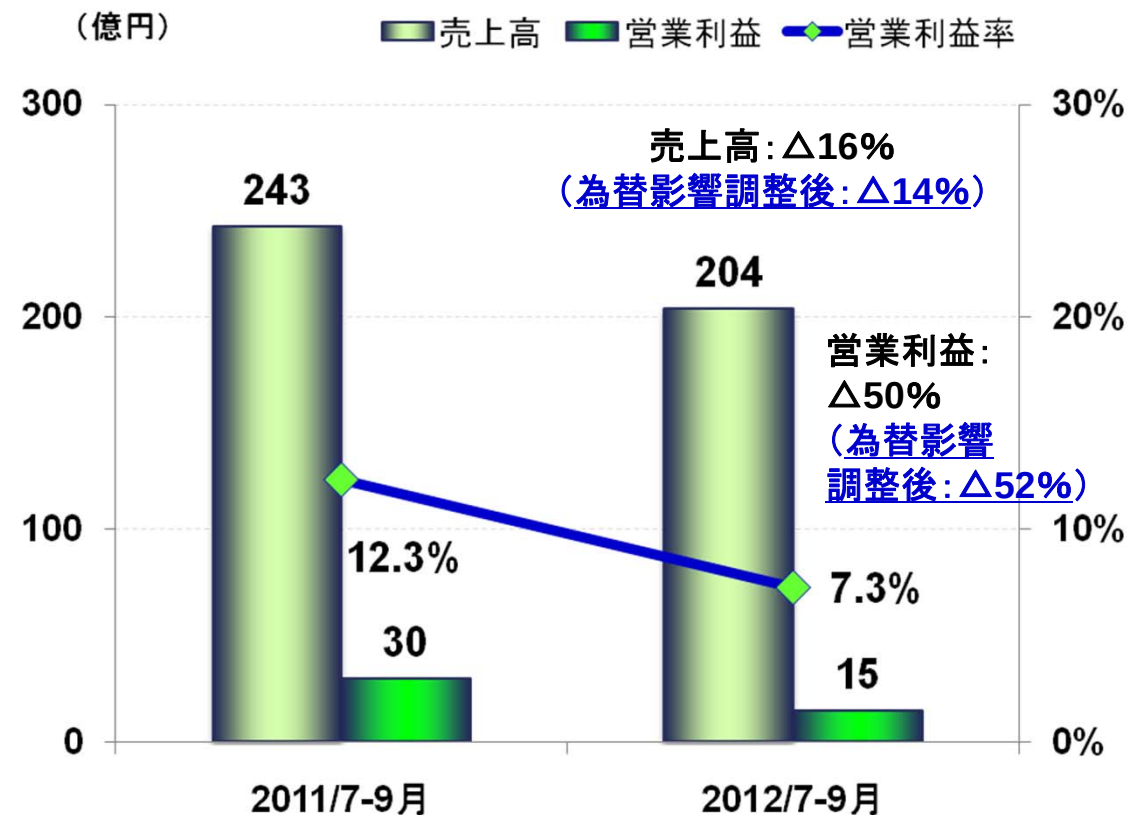


◆民間設備投資抑制や政府予算執行遅れ等により減収減益

上半期（4-9月期）



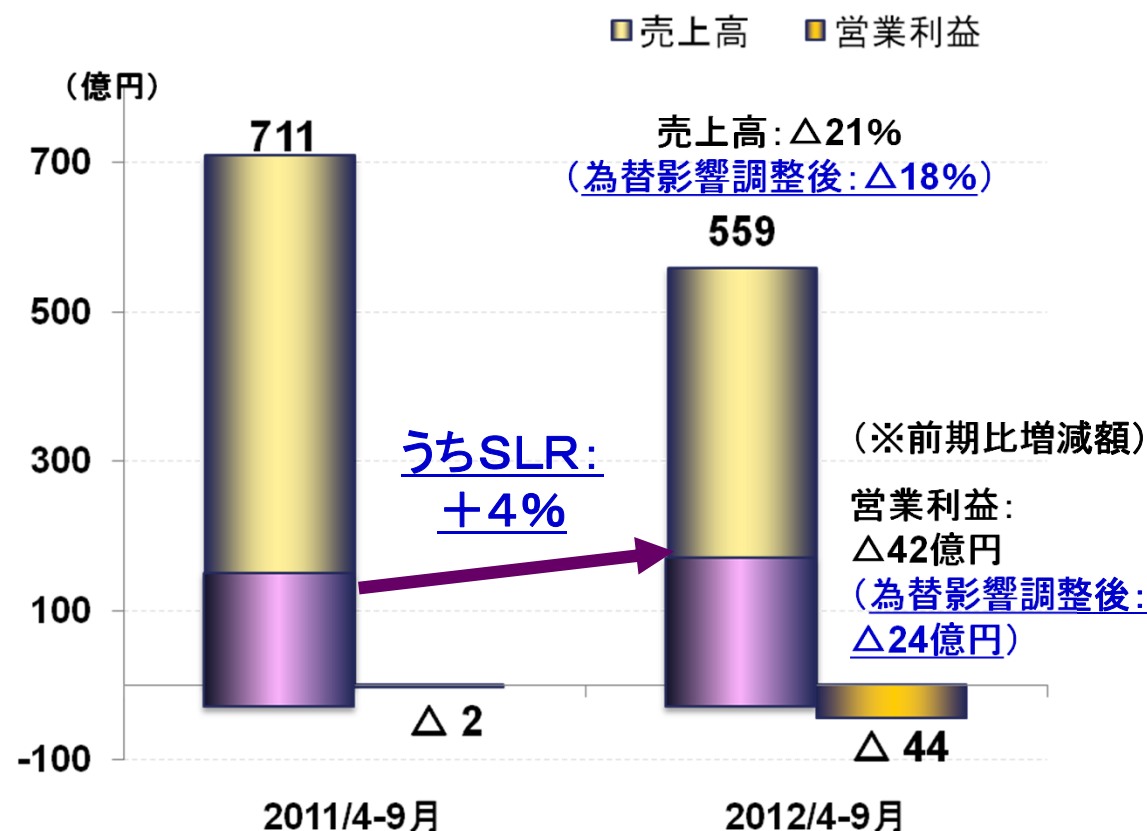
2Q（7-9月期）



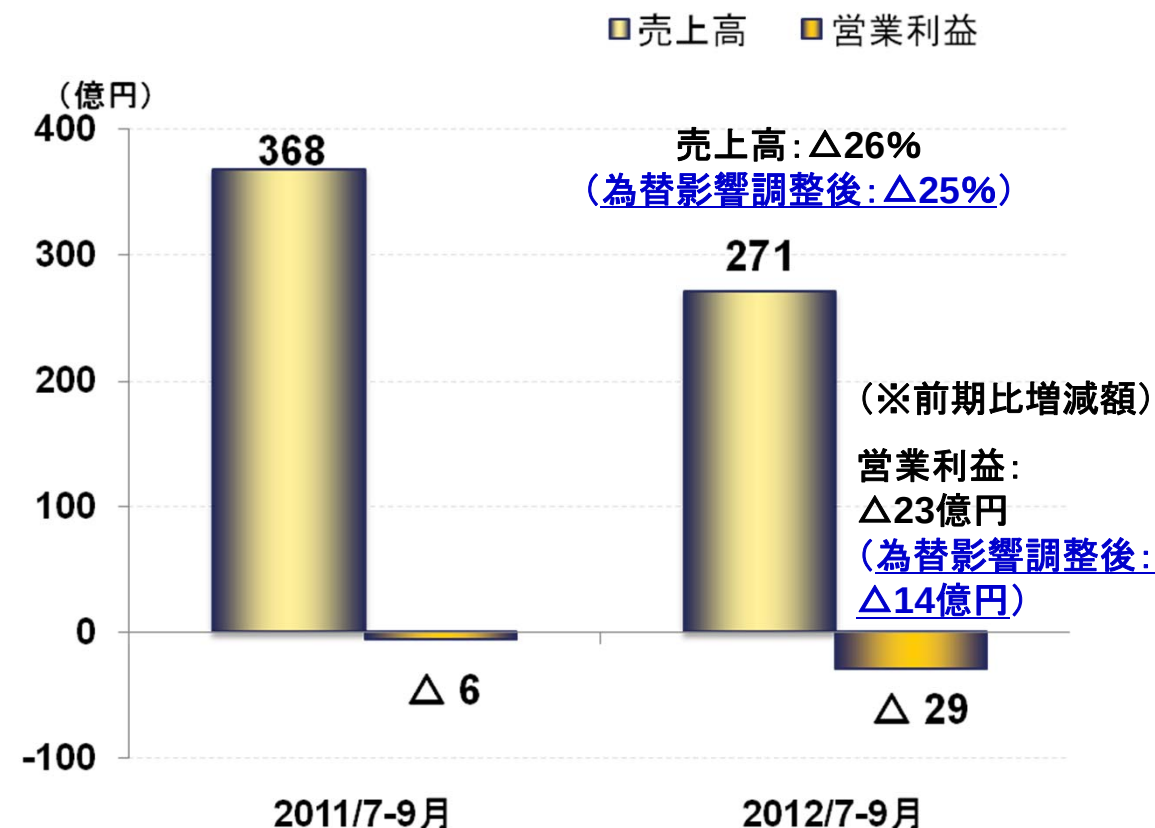
2013年3月期 第2四半期実績 ⑤映像事業

- ◆コンパクトカメラ市場が急速に縮小する中、当社のコンパクト出荷台数も減少
- ◆一方、ミラーレス市場は全世界で堅調に成長。OM-Dは想定以上の販売増

上半期（4-9月期）



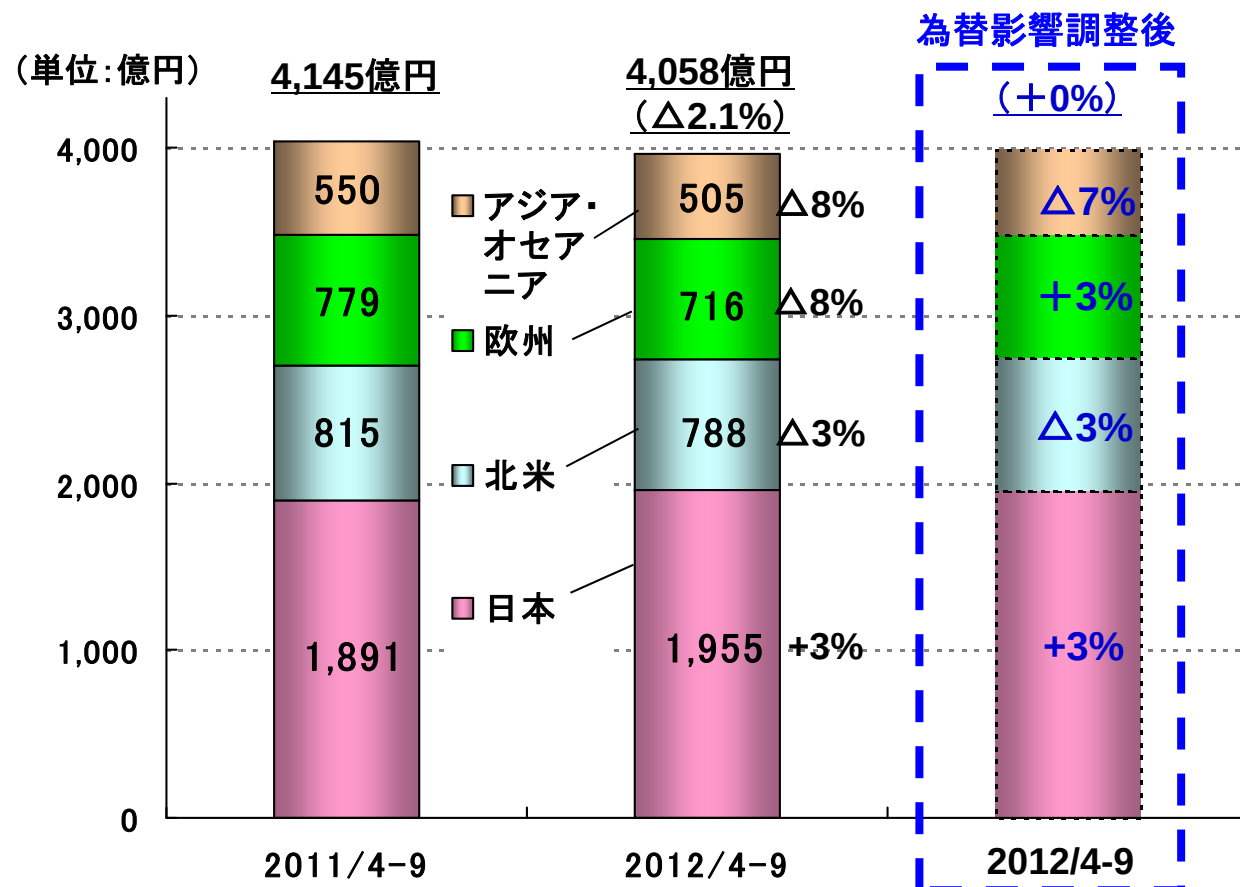
2Q（7-9月期）



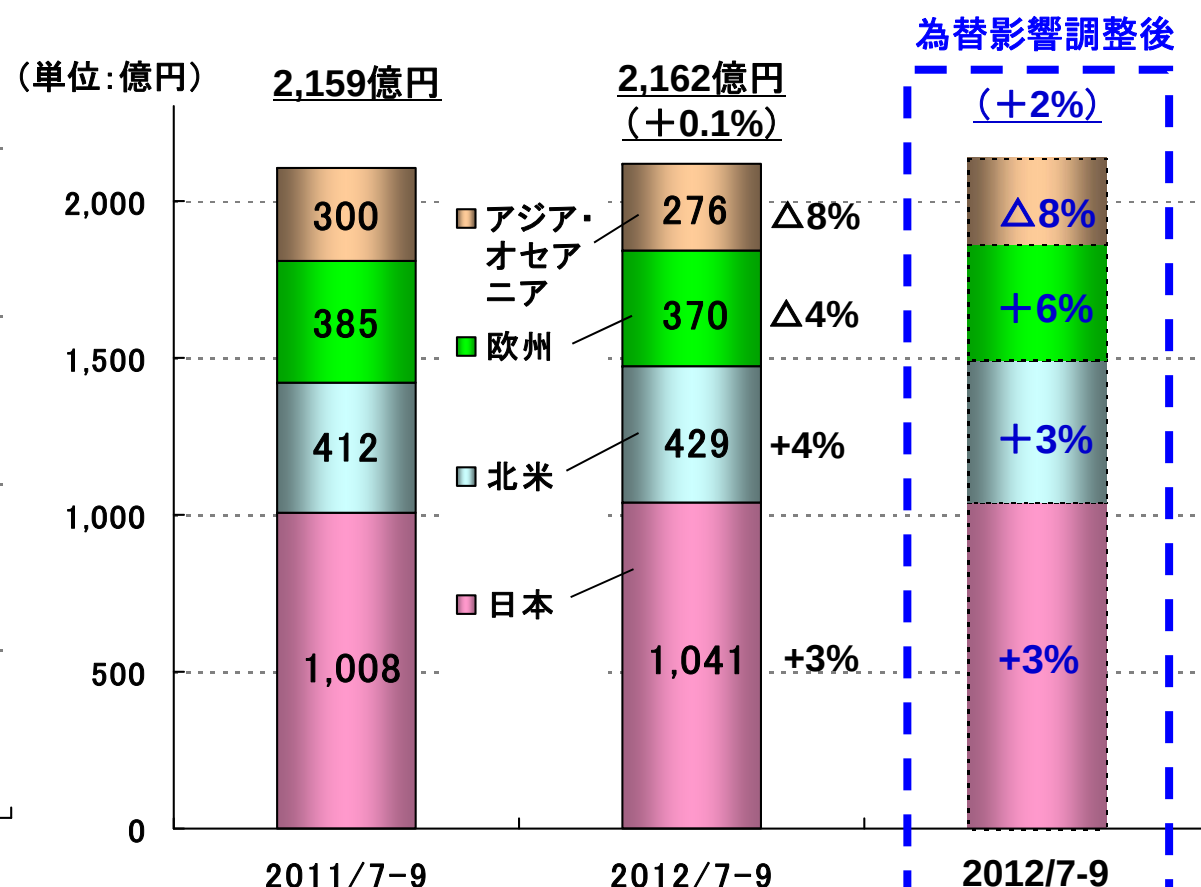
2013年3月期 第2四半期実績 ⑥仕向地別売上高

◆ 医療事業は、欧州経済危機や新興国の成長鈍化による大きな影響は見られず
 (医療事業の7-9月期成長率: 国内+11%、北米+9%、欧州+10%、アジア・オセアニア+45%)

上半期 (4-9月期)



2Q (7-9月期)



貸借対照表(2012年9月末)

(単位:億円)	2012年 3月末	2012年 9月末	増減		2012年 3月末	2012年 9月末	増減
流動資産 (デジカメ在庫)	5,266 (236)	4,720 (287)	△546 (+52)	流動負債	3,204	2,808	△395
有形固定資産	1,278	1,231	△47	固定負債 (内:社債・長期借入金)	5,981 (5,303)	5,365 (4,743)	△616 (△560)
無形固定資産	1,971	1,575	△396	純資産	480	344	△136
投資その他資産	1,150	991	△159	(自己資本比率)	(4.6%)	(3.7%)	(△0.9pt)
資産合計	9,665	8,518	△1,148	負債 純資産 合計	9,665	8,518	△1,148

有利子負債: 5,862億円(△562億円)

純有利子負債: 3,955億円(△469億円)

自己資本比率: [6月末]2.2% ⇒ [9月末]3.7%

キャッシュフローの状況(2012年4-9月)

(単位:億円)	2012年3月期 2Q (2011年4-9月)	2013年3月期 2Q (2012年4-9月)	増減
売上高	4,145	4,058	△88
営業利益	175	180	+5
(%)	4.2	4.4	-
営業CF	231	65	△166
投資CF	△185	373	+557
財務CF	231	△521	△752
キャッシュフロー	277	△84	△361
フリーキャッシュフロー	46	437	+391
現金及び現金同等物期末残高	2,317	1,860	△456
減価償却費	166	157	△8
のれん償却額	68	54	△14
設備投資額	165	146	△18

(2)2013年3月期通期見通し

2013年3月期 連結通期見通し

(単位: 億円)	2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (最新見通し)	前期比 増減額	前期比 (%)	2013年3月期 (前回見通し)
売上高	8,485	7,570	△915	△11%	9,200
営業利益 (営業利益率)	355 (4.2%)	380 (5.0%)	+25 (+0.8pt)	+7%	500 (5.4%)
経常利益 (経常利益率)	179 (2.1%)	160 (2.1%)	△19 (0pt)	△10%	210 (2.3%)
当期純利益 (当期純利益率)	△490 (-)	80 (1.1%)	+570 (-)	-	70 (0.8%)
<為替レート・影響額>					
円/US\$	79円	80円	+1円(円安)		
円/Euro	109円	100円	△9円(円高)		
売上高への影響額	-	△152億円			
営業利益への影響額	-	△57億円			

2013年3月期 セグメント別業績見通し

◆ 医療事業は前期比で増収増益と引き続き好調、当初の利益計画を達成の見通し

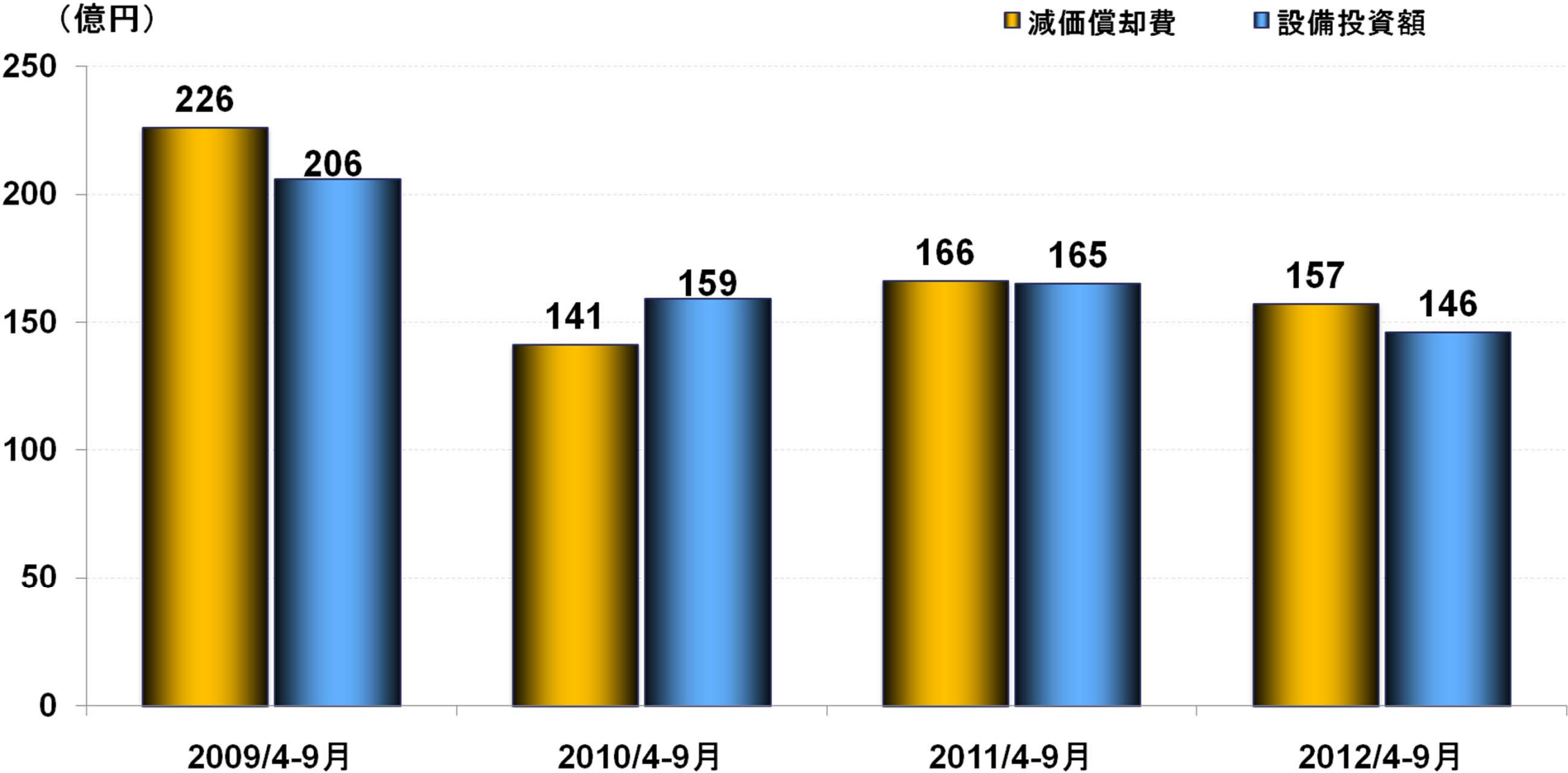
(単位: 億円)		2012年3月期 (実績)	2013年3月期 (最新見通し)	前期比 増減額	前期比 (%)	2013年3月期 (前回見通し)
医療	売上	3,492	3,780	+288	+8%	3,830
	営業利益	682	750	+68	+10%	750
ライフ・産業	売上	924	910	△14	△2%	970
	営業利益	54	40	△14	△27%	55
映像	売上	1,286	1,290	+4	+0%	1,490
	営業利益	△108	△80	+28	-	10
情報通信	売上	2,294	1,142	△1,152	△50%	2,370
	営業利益	53	17	△36	△68%	50
その他	売上	489	448	△42	△9%	540
	営業利益	△80	△47	+33	-	△65
全社・消去	売上	-	-	-	-	-
	営業利益	△246	△300	△54	-	△300
連結合計	売上	8,485	7,570	△915	△11%	9,200
	営業利益	355	380	+25	+7%	500

OLYMPUS

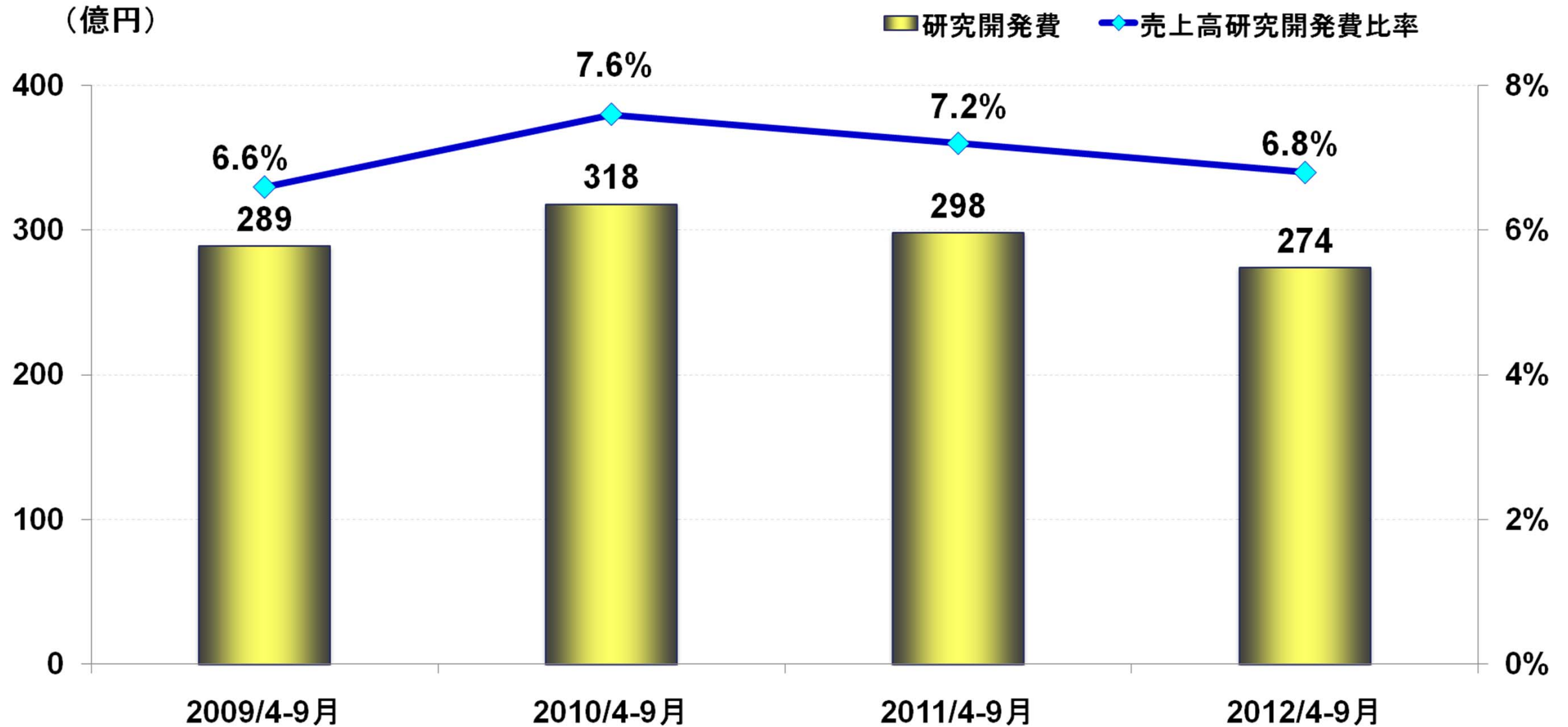
Your Vision, Our Future

参考資料

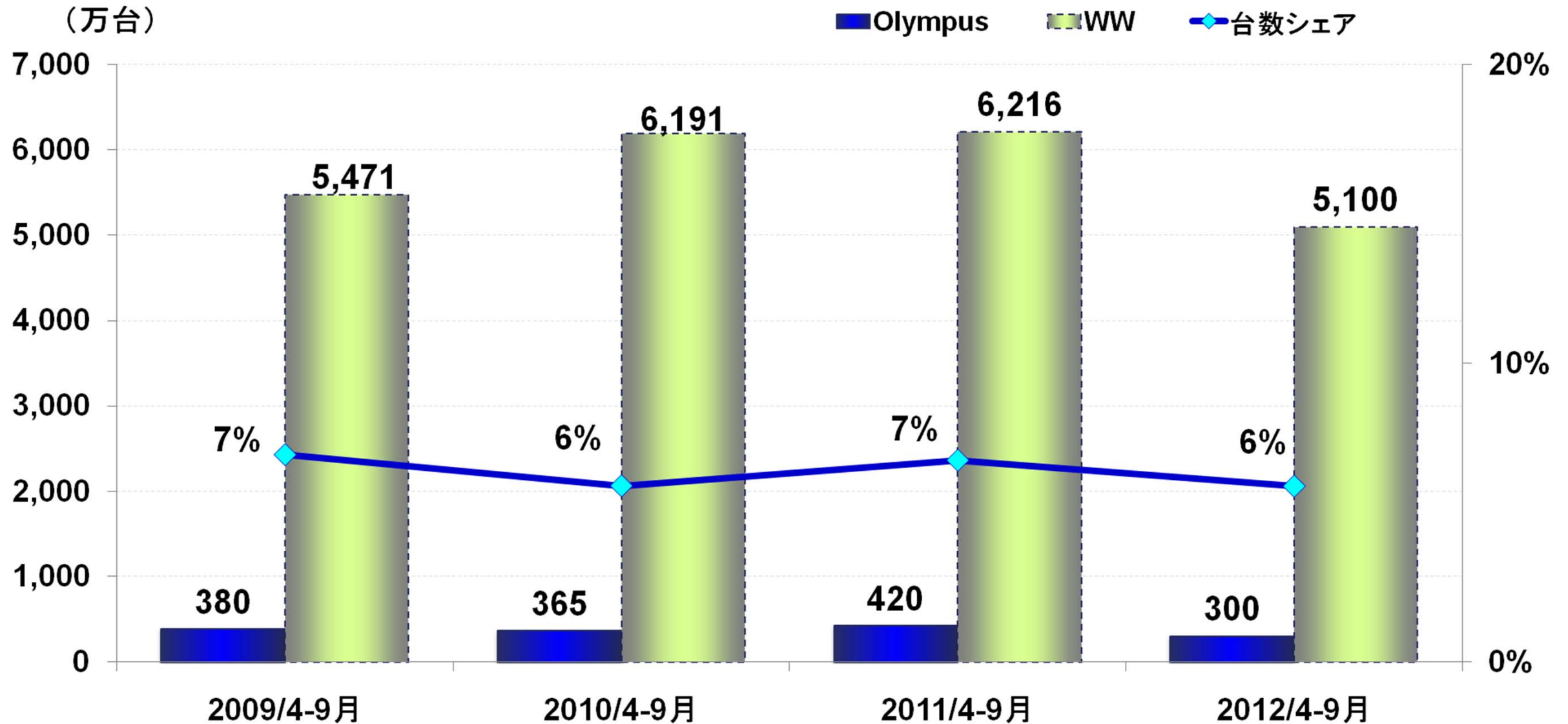
設備投資・減価償却費



研究開発費



デジタルカメラ



本資料のうち、業績見通し等は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいたものであり、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が目標と大きく異なる結果となる可能性があります。